

標題

SOx スクラバー排水管系統におけるディスタンスピースの腐食について

ClassNK

テクニカル インフォメーション

No. TEC-1205
発行日 2020年4月9日

各位

最近、弊会船級船において、SOx スクラバー排水管系統に取り付けられている船体付きディスタンスピースから機関室内に海水の漏洩が確認された事例が散見されております(図 1 参照)。これまでのところ、小規模な漏洩の段階で発見されているため、機関室浸水に至った事例はありません。しかしながら、弊会としましては今後も同様な事例が発生する、また、大規模な漏洩及び機関室浸水に繋がる可能性もあると考え、本テクニカルインフォメーションを発行する次第です。

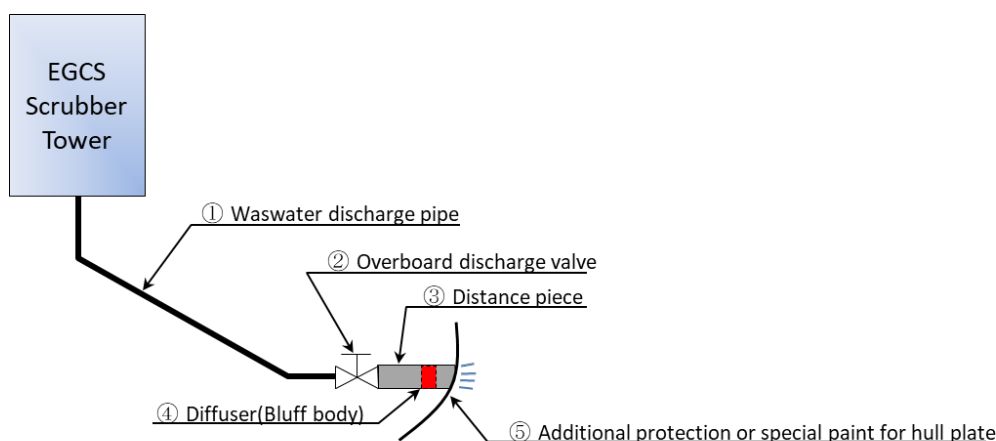


図 1 SOx スクラバー排水管系統

これまでの事例で漏洩が発生している箇所は、ディスタンスピースとフランジの溶接箇所(写真 1 参照)、あるいはディスタンスピースとbluff bodyの溶接箇所(写真 2 参照)付近であります。ディスタンスピース内面を確認したところ、当箇所付近において腐食が発生、進行したことにより漏洩が発生しております。また、漏洩には至っていないものの、当箇所付近から腐食が発生、進行していることが確認された事例もあります。

(次頁に続く)

NOTES:

- ClassNK テクニカル・インフォメーションは、あくまで最新情報の提供のみを目的として発行しています。
- ClassNK 及びその役員、職員、代理もしくは委託事業者のいずれも、掲載情報の正確性及びその情報の利用あるいは依存により発生する、いかなる損失及び費用についても責任は負いかねます。
- バックナンバーは ClassNK インターネット・ホームページ(URL: www.classnk.or.jp)においてご覧いただけます。

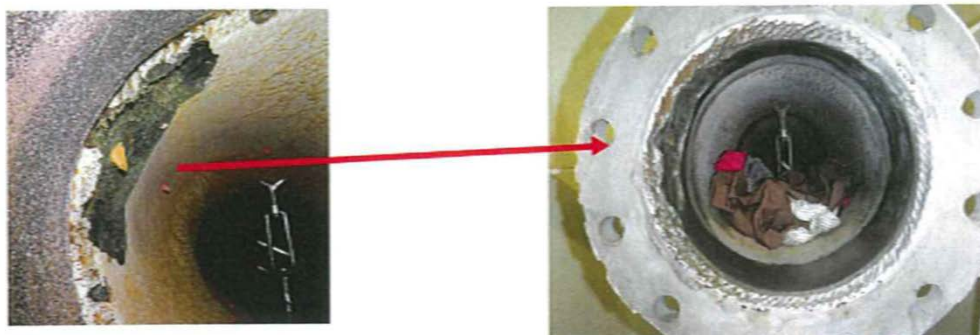


写真1 ディスタンスピース-フランジ溶接部付近の腐食



写真2 ディスタンスピース-bluff body 溶接部付近の腐食

従いまして、SOx スクラバーを搭載した船舶を運航、管理されている船主殿及び管理会社殿におかれましては、本事例を認識の上、乗組員にも周知いただき、機関室側からでも当該ディスタンスピースを中心に排水管システムの点検を強化いただくようお願いいたします。また、船体清掃等でダイバーを入れる機会があれば、合わせて当箇所をディスタンスピース内面から確認いただくようお願いいたします。

漏洩が発見された場合には、速やかにセメントボックス等による応急処置を施していただいた上で、出来るだけ早く弊社検査員による臨時検査を受検いただきますようお願いいたします。

なお、本件に関してご不明な点は、以下の部署にお問い合わせください。

一般財団法人 日本海事協会 (ClassNK)

本部 管理センター別館 検査部

住所: 東京都千代田区紀尾井町 3-3(郵便番号 102-0094)

Tel.: 03-5226-2027

Fax: 03-5226-2029

E-mail: svd@classnk.or.jp